

豊中市中小企業チャレンジ促進プラン【概要版】

<促進プランの前提となる考え方>

○促進プラン策定当時からの基本的な考え方

- ・さまざまな業種・テーマを対象に事業者を支援
- ・環境の変化に対応できる、自立した企業が育つことを応援
- ・産業のまち・産業を応援するまちを内外にアピール



○市が持つ強みである信用力・発信力の発揮、支援機関等との連携

- 中小企業・創業者の現状や課題を把握、適切な情報発信
- 課題に応じた適切な支援機関等とのマッチング、支援開始後の伴走支援

○計画期間

平成 29 年度(2017 年度)～平成 31 年度(2019 年度)
の3年間とする。

<促進プランのテーマ>

「中小企業・創業者のそれぞれの強みを活かした事業展開を促す環境づくり」

<促進プランの実施を通じてめざす状態>

中小企業・創業者、支援機関等が連携することの相乗効果による地域の産業活動の活性化
→豊中市の特性を活かした活動的な企業が生まれ、持続的に事業を展開している状態

<中小企業振興の基本的な考え方>

1. 中小企業支援のあり方

- 中小企業について…それぞれの事業者が自らの個々の課題に気づき、行動するきっかけが生まれるような環境をつくる
- 創業者について…地域活性化に資する創業支援について、市の役割を強化する

2. 社会経済状況の変化に対応した支援のあり方

- 多様化、複雑化する課題への相談体制の周知…支援機関等との効果的な情報交換と中小企業、創業者への情報発信
- 市内の中小企業の変化や IT 化への対応…さまざまな経営課題解決手法である M&A 活用や事業承継に関する支援

<施策展開の考え方>

①地域産業の活性化に向けた起業・創業支援

- 創業の段階に応じた創業支援体制の拡充
- 創業支援における支援機関等との連携強化
- 創業支援施策の対外的な認知向上

②自社の強みを活かしたビジネスモデル構築

- 市内中小企業の現状把握の強化
- 自社の強みの把握や課題の明確化に向けた支援
- 業種・業態・事業フェーズに応じた課題意識に対応する施策展開
- 媒体の特性に応じた効果的な情報発信

③地域での連携を活かした中小企業の経営基盤の強化

- 事業者・支援機関等との交流による新たな取り組みの契機の創出
- 事業者間の連携構築等による持続的な事業展開の支援
- 支援機関等と連動した経営支援体制の構築

<進行管理>

	指標	目標数値
①創業を志す人、創業する人の増加	とよなか創業ナビにおける相談件数	650 件 / 1 年度
	とよなか創業ナビにおける創業者数	80 人 / 1 年度
②市内の事業所の状況把握体制の強化	事業所訪問数	160 事業所 / 1 年度
	各種相談件数	200 件 / 1 年度
③企業間交流、支援機関等との連携体制の強化	企業間交流の場の参加者数	のべ 100 人 / 1 年度
	支援機関等への相談つなぎ件数	20 件 / 1 年度